

35周年記念座談会

—埼玉県合唱連盟10年の歩み— より抜粋

第3回大会直前の1992(平成4)年8月11日

●注目的／「おとうさんコーラス大会」

小高 おかあさんの反省会でしたかねー。

宮寺 ねー、だったらおとうさんもというね。

小高 そうですね。おとうさんもという、じゃやってみようというので始まったわけですけど、僕は、はじめて良かったなと本当に思ってますね。これはコンクールじゃないし、やっぱり合唱を楽しむ雰囲気、なにしろ僕はもっていきたいという考えがありましたから、うーん、特に、僕は川越高校でずっと教えていて、男が、合唱好きな人は誰でもそうなんでしょうけれど、集まれば歌がでるといふ雰囲気があったんですからね、これで高校生は歌う機会があるけれど、一般の大人の男性たちは、どうだろうなんていうようなことで、そういう機会を設けてやるということが、埼玉県合唱連盟を盛り上げるうえでも、大きなポイントになるかなというところで、今年で3回目でしたっけ？

宮寺 そうですね。

小高 うーん、これはね、皆さん楽しみにしてくれて、成功してうれしいなというところですね。

田尻 おとうさんコーラスのいいところは悲愴感がないところですね。今、彼が言ったけど、本当にね、コーラスを楽しむという本来の姿があると思うんだよね。あの合唱祭でもいくら悲愴感があるんですよ。

鎌田 たしかにあります。

宮寺 それに関連してなんですけれど、合唱祭に出るといふことは、レベルが高くないと出られないんだという、ある市の合唱連盟には加わっているけれど、県連には加わらないというランクづけを勝手にしてね。例えば前大岩先生と一緒にやっていた春日部なんていうのも「まだわたしたちは県に出る段階じゃないんですよ」「県の合唱祭、とてもじゃないけど恥かしくて出られない」

そうではないと思うんですけれどね、合唱祭ですからね。どの団体もきて、楽しんでいただければいいんじゃないかと思うんですけれどね。そういった意味でおとうさん方の成功の秘訣っていうのは、やはりプラスアルファのビールもね。お酒を飲みながらっていう、その辺のね、半分余興があってというのも大成功につながった大きな要因かなと、だからそういった意味でも、合唱祭にもどっちゃいますけれど、気楽に参加できる部分があるといふのかなあと思いますけれどね。

小高 いやー、事務局長のビール会社に交渉してくれたのが大きいですよ。

鎌田 歌うのも楽しいんだけど、第2部の方大変楽しみにしてましてね。ビールの方ね、それからやっぱり、男の人だからあれだけ楽しめるっていうのもあるかなという。

鎌田 例えばおかあさんたちが、あれだけ集まってもなんとなく競うようなところがあるんですね。おとうさんっていうのは、本当にそういうところがなくて、お互いにやっついこうみたいな雰囲気がある。やっぱり社会的に訓練をされている男性のいいところなんじゃないかなという気がするんですね。で、本当に楽しみにしておりますので、これからも是非いろんな楽しい計画をお立てになって、やっていただけたらと思いますね。

小高 そうですね。途中で音がわからなくなって、とり直すなんていうのは、恥かしくてできないのね、普通は。平気だね。

宮寺 それとやはり役員さんも一緒にこう、盛り上げるために「ハゲマス会」という名前を出ていることがとってもいいことではないかなあと思いますね。

(略)

村田 第1回はね、私を感じたのは、やはり我々学生時代、男声合唱全盛の頃でしたよ。だからその頃の男声合唱の味が忘れられない人たちが、こういう年になって、たまたまおとうさんコーラス大会があるぞっていうので、皆歌いたくて集まってきたという雰囲気を感じたんですよ。歌いにきた方の年令をみたらね。

村田 ところがね、今年うれしいのは今年の申込みの中に、未来のおとうさんコーラスっていう。

●若手も交えて全国に広めよう

鎌田 若い方たち。

村田 そう、まだ浪人している方とかね。そういう方でつくっている合唱団が申込んで来たんです。これは非常にね。男声合唱っていうのはやはりこういうもんじゃないかと、だから大歓迎ですよ、そういう若い方も参加していただくこと。いままでちょっと、やっぱり年輩の方が多いなと思っていただけたけれど。

小高 そうですね。だからこれからは埼玉県で昔、合唱をやった人とかね、今もちろん学生で、大学生ぐらいでやっている人とか、それでもいいんですけど、これ、全員にもっと意外と行き渡っていかないかと、いっぱいいるでしょうからね、うーん。

(略)

小高 男性がこうやって集まる県ってめずらしいかもしれないですよ。これだけいるっていうのはね。なにしろ2回やって本当に楽しそうに歌うんだよ。

宮寺 うたごえ——プラスビールっていうのか、これがなんとだね。

鎌田 全体合唱で男声はすぐハモれますよね、それが女声ではア・カペラではなかなか歌えないっていうのが苦しいところですね。そういった点で男声はすぐうらやましいと思うんですね、すぐどこでもハモれるでしょ、それが強みですよ、またそれが楽しい。

(略)

宮寺 これから非常に期待のもてる事業ですね。

鎌田 おとうさんは連盟の事業の中では、とても楽しい事業だになって思いますね。

(略)

村田 まあ、おとうさんコーラスはこれから各県でもやって、全国に広がってほしいですね。

鎌田 で、なんかさ、とりあえず関東で集まろうとかさ、そういうのがあったらね、すぐうれしがるんじゃないでしょうかね。

小高 代表ではなくて。

小高 集まれる人が。

鎌田 集まれるところがね、それがまたコンクール形式になるとまた楽しさが半減してしまうんですね。だからただ参加できる人たちが、まだどこかで集まろうやっついこうがいいと思いますね。

村田 やがて話題が全国に広がっていけばね、埼玉で今度何回のおとうさんコーラス大会やるぞと全国へ知らせれば、歌いたい人は遠くからきますよ。そういう風にならなきゃまたいけないね。

宮寺 関東支部の運営委員会でもその件について、理事長と話しましたら、非常に皆さん関心があるって、じゃ関東でやろうよっていうね。まだね、正式じゃないですけど、そういう気運は高まっていますね。



後列 左から 大岩常務理事・宮寺事務局長・村田副理事長
前列 左から 小高副理事長・田尻理事長・鎌田顧問
(役職は、座談会当時のもの)